

令和5年度 第5回大津市総合教育会議

- 1 開催日時 令和6年2月5日(月)  
開会：13時25分 閉会：15時00分
- 2 開催場所 富士見小学校
- 3 議題  
(1) 学校現場視察  
・GIGAワークブックを活用した情報モラル教育の現場視察及び児童との意見交流
- 4 出席委員  
島崎教育長、壽委員、田村委員、周防委員、大西委員、佐藤市長
- 5 会議に出席した学校関係者及び事務局職員  
奥田校長、藤橋教頭  
教育部長、富永教育部次長、小島教育部次長、教育総務課長、学校教育課長、  
ICT支援室長、教育総務課長補佐、教育総務課副参事  
政策調整部次長、企画調整課長、企画調整課副参事
- 6 議事の経過 別紙のとおり

## 1. 開会

## 2. 議題

### (1) 学校現場視察

・GIGA ワークブックを活用した情報モラル教育の現場視察及び児童との意見交流  
現場視察

〔質疑応答〕

○市長 本日の授業の視察や児童との意見交流を踏まえ、皆様との意見交換を行いたいと思います。まずは教育長からお願いいたします。

○教育長 本日は3年生の授業を拝見させていただきましたが、この先、子どもたちにどのような力を身に付けさせたいか、3年生として考えておられることがあれば教えていただきたいです。

○3年担任 今回の授業でポイントとなったところは、人によって言い方や感じ方が違うというところで、今までも、同じ言葉でも上から目線に感じたりするようなこともあり、今回の授業を通して、相手は自分と同じでは無く、考えて言葉を選ばなければいけないというような気付きがあったように思います。また、LINE 上での文面でのやりとりや言葉選びの難しさを考えるきっかけになればと思っています。

○教育長 今回の授業を基礎として、今後に生かしていけたらと思います。

○壽委員 本日は5年生の授業を拝見させていただきました。授業の後にも、子どもたちと直接お話しさせていただき、子どもたちがどのようにタブレット端末やインターネットに触れているかも分かりました。特に操作面については、ほとんどの子どもたちは支障なく使えているように感じましたが、数人はタイピング等が難しいと感じているという話をしてくださいましたが、勉強の道具として自然と運用されていることに驚きを感じました。家でも遊びでタブレットを利用することもあるそうで、日常の身近な道具になりつつあるのだということがよく分かりましたし、安全性をどう担保していくのがますます重要であると思います。

○周防委員 3年生の授業を拝見させていただき、人によって言い方が違ったり、言葉とその裏にある気持ちの違いということから、言葉の尺度が様々であると痛感しました。クラスの中でも意見を言えない子どもが一定いるなかで、意見を元気に言える子どもたちの考えに引っ張られて見えなくなっていくこともこれからの課題なのかなと思っています。しかしながら本日の授業で、子どもたちが色々な思いを持っているということが分かってとても良かったです。

○大西委員 3年生の授業を拝見させていただきました。今回、情報モラル教育の取組を具現化していただき、3つのものが整理できたかと思います。1つはタブレットの使い方、2つ目は道徳教育について、3つ目は情報モラルについてです。タブレットに関しては、説明にもあったようにステップ1は十分満たして、子どもたちがアクセス出来ている状況

が確認できました。一方で、これは次の課題というように思ったのが、道徳教育と情報モラルの扱い方の相反する面があると思っております。メッセージを送る際には注意しなければいけないというのは子どもたちに徹底しなければいけないことから、答えは1つだと思います。一方で、道徳教育の場合は子どもたちによって考え方が違い、立場や条件によって異なることから、これを1つの授業で考えることの難しさがあると感じました。今回は1つの実践事例ということですので、今後、GIGA ワークブックを使い、情報モラル教育に取り組むにあたり、そういった難しさもあるということを見せていただいたのかなと思いますので、教育委員の方でも、聞き取りながら、実践を積み重ねていきたいと思いました。

○田村委員 子どもたちに質問をさせていただいた中で、ほとんどの子どもたちが自分のペースで勉強が出来ていると言っていました。また、学校が楽しい場所と言っていた子どももいたので、ICTを活用することで学習への意欲が更に高まっていけばと思っております。今後においては、法的に許されない部分と、ある程度許容範囲をもって許されているが、人の心に関わっていく部分とをしっかりと整理していく必要があるのかと思いました。今回の視察で、これからの大津の情報教育の進む姿を見ることができたことが良かったです。

○市長 GIGA スクール構想のなかで、タブレット端末を現場の皆様にも苦勞いただきながら一人一台配備し、積極的に活用する中、課題もありながらも軌道に乗り始めたと思っております。しかしながら、この情報モラル教育が、現場の皆様になんか新たな負担となるのではないかと危惧しながらも、必要な取組として本日の授業を拝見させていただきました。また、アンケート結果から、子どもたちが平日や休日のインターネットやスマートフォン端末等の利用時間が長時間化しているという結果がありました。それらを踏まえ、子どもたちに、寝る時間が何時なのか、家庭学習の時間がどのくらいかを質問させていただいたところ、思った以上に寝る時間が遅く、家庭学習の時間が短いというように感じました。これは、家庭の協力も不可欠であります。子どもたちの育つ環境をどう整えるかということは、今までの調査等からは見えてこない部分なので、今後どのように取り組んでいくのか等、課題が見えてきたと感じています。

○5年担任 端末の使用時間等についても、しっかりと教育現場として検討していきたいと思っております。

○3年担任 3年生はローマ字入力をまだ完全に習得していないことから、ペンを使いながら文字入力もしているが、やはり直接紙に書く方が、丁寧な字を書けるという子どもの意見があったことから、タブレットと紙の両方を生かしていくことも大切だと感じました。端末の使い過ぎについてですが、使いたくなる子どもたちの気持ちも理解できますが、時間を守る大切さについても長期休みに入る前などですがお話もさせていただいている状況です。

○田村委員 タブレット学習で一つ懸念しているところで、子どもたちの書く力です。

○市長 おっしゃる通りで、タブレットの活用を推進しながらも、書くなどの基礎的な力もしっかりと身に付けていくことも重要だと感じます。今回、子どもたちから直接聞かせてい

ただいた意見を参考にしながら、しっかりと進めていきたいと思ひます。それでは、これをもつて全ての議事を終わらせていただきます。